

## 随意契約結果書

物品等の名称及び数量	E T C 2. 0 プローブ情報を活用した渋滞要因分析システムの開発に関する研究
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	分任支出負担行為担当官 近畿地方整備局 近畿技術事務所長 達家 養浩 大阪府枚方市山田池北町11-1
契約締結日	令和 2年 8月18日
契約の相手方の氏名及び住所	国立大学法人京都大学
契約金額 (消費税及び地方消費税含む)	¥5,000,000-
予定価格 (消費税及び地方消費税含む)	¥5,000,000-
随意契約によることとした理由	<p>本業務は、E T C 2.0 プローブ情報等から得られるデータによる渋滞要因分析を行うとともに、渋滞要因分析システムを構築しその運用を図るものである。</p> <p>また本業務は、第三者機関である「新都市社会技術融合創造研究会」が産・学・官の連携・協力を図るべく、大学等を対象に道路に関する研究テーマを公募し、上記法人に所属する研究者が応募したものである。本業務は、公募課題「道路管理におけるE T C 2.0 プローブ情報の利活用手法の開発」に対して提案され、同研究会において審査した結果、課題解決性、新規性・将来性、実現可能性が優れていたため、研究テーマとして令和元年6月に特定され、令和3年度までの研究が承認されている。</p> <p>以上のことから、当該研究テーマを提案した上記法人と契約を行うものである。</p>
備 考	